

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件名 関西国際空港高圧ケーブル更新その他工事

開札年月日 令和5年9月20日 （落札決定日 令和5年10月17日 ）

入札執行官署 大阪航空局

落札金額 ￥ 38,291,000 -

落札者 株式会社岡田電気

予定価格 ￥ 62,733,000 -

積算額 ￥ 62,733,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥ 57,030,000 -

調査基準価格 ￥ 57,200,000 - 調査基準価格の100/110 ￥ 52,000,000 -

基準評価値 175.346

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評価点 (満点122点)	第1回入札			第2回入札			摘要
		入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	
株式会社岡田電気	102.5	34,810,000	294.455	○				落札
株式会社村上電業社	108.0	46,520,000	-	-				

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
 ※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。
 ※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。
 ※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
 ※本件は、入札説明書7.(7)に基づく施工体制確認のためのヒアリング、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和5年10月17日に落札者を決定した。

低入札価格調査の実施概要（建設工事）

件 名：関西国際空港高圧ケーブル更新その他工事

発注機関名：大阪航空局

調査対象業者：株式会社岡田電気

項 目	内 容
(1) その価格により入札した理由	<p>当該者は、元来西日本一円において工事を行っており、官庁、民間問わず多くの実績がある。材料仕入れに関しても取引歴30年以上の電材業者と取引しており価格面でも協力を得ることができている。</p> <p>当該物件に対して現場監督及び作業員の確保も充分であり、同種官公庁の工事实績も多くある。</p> <p>以上の理由により、低入札ではあるが、当該入札価格にて採算は確保できると判断した。</p> <p>空港内工事であることを考慮し、各関係者と綿密な打ち合わせを行い、工事においては高圧ケーブルが非常に長い距離なので、絶縁耐力がおちないようにしっかり養生し、ケーブルに傷がつかないように作業する。また、接続箇所も多い為接続する際には水分等十分に配慮して施工を行うということが確認できた。</p>
(2) 契約対象工事付近における手持工事の状況	<p>配置を予定している主任技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、非専任の主任技術者として従事している手持ち工事が4件あるが、そのうち3件は材料手配期間の年内に工事が完了し、1件は現場作業従事期間が重複しないことで、配置予定の主任技術者を本工事に配置することとしていることから、適正であると思料される。</p>
(3) 契約対象工事に関連する手持工事の状況	<p>配置を予定している主任技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、非専任の主任技術者として従事している手持ち工事が4件あるが、そのうち3件は材料手配期間の年内に工事が完了し、1件は現場作業従事期間が重複しないことで、配置予定の主任技術者を本工事に配置することとしていることから、適正であると思料される。</p>

(4) 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	当該工事場所である関西国際空港は当該者の本社が近隣に位置するため、車両燃費等において経費の節減が可能で、緊急時の対応及び安全管理に優位性があることを確認できた。
(5) 手持資材の状況	手持資材はなく、今回工事において調達することとしている。
(6) 資材購入先及び購入先と入札者との関係	永年にわたり取引がある業者と取引が可能であることを提出資料により確認できた。
(7) 手持機械数の状況	当該工事で使用する圧着機、インパクト等を自社で保有している。
(8) 労務者の具体的供給見通し	電気工事について、すべて自社のものを従事させるとしており、雇用関係は健康保険証の写し、施工等に必要な資格は資格者証等にて確認したほか、配管撤去にかかる掘削、埋戻しについては協力会社である下請業者が行うこととしており、各工種別に労務者を適切に配置する予定であることを確認できた。
(9) 過去に施工した公共工事名及び発注者	過去に施工した公共工事を確認したところ、平成30年～令和4年度において、電気設備工事として、国土交通省1件、公共法人7件の計8件の施工実績があり、概ね適切な施工が行われているものと思料される。 また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事が4件あったものの、工事成績評定点を確認したところ平均77.5点であり問題なく施工が完了していた。
(10) 経営内容	調査対象者の経営内容は、直近の財務諸表等の報告書から、健全な経営が行われていると判断する。
(11) (1)から(10)までの事情聴取した結果についての調査検討	本件において、配置予定技術者及び過去の公共工事の施工状況から施工面について問題があるとはいえないことなどから、契約の内容に適合した履行がされないおそれがあるとは認められなかった。

(12) (9)の公共工事の成績状況	過去に施工した公共工事は適切に行われており、工事の品質については問題はないと判断する。	
(13) 経営状況	問題なし。	
(14) 信用状況	法令違反の有無	無
	賃金不払いの状況	無
	下請代金の支払遅延状況等	無
(15) その他の必要な事項	無	